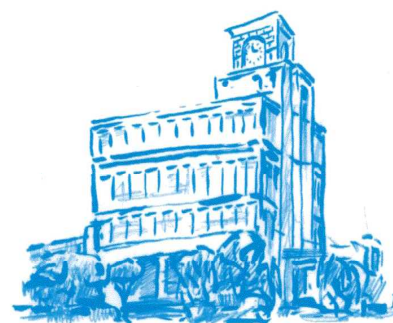


## 地域の力を結集したカリマネの推進

伊丹市立総合教育センター  
所長 太田 洋子

小学校ではいよいよ次年度から新しい学習指導要領が始まります。次期学習指導要領において何度も耳にしているキーワードの一つが「カリキュラム・マネジメント」です。カリマネと略して言われるこのことばも、だいぶ定着してきたように思います。ただ、本当にこのことばの意味を理解して、各学校が自分の学校の教育課程の改善に取り組んでいるかということ、疑問の残る部分もあります。



小学校学習指導要領（平成29年3月公示）第1章総則第1の4にはカリキュラム・マネジメントを次のように定義しています。

「各学校においては、児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと（以下カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする」

たったこれだけの文面ですが、①教科横断的な視点での教育内容の組織的な配列②PDCAサイクルの確立③人的・物的資源の活用の3点の内容が学校に求められているのです。では、学校は具体的に今何をすればいいのでしょうか。

まず意識すべきは、今の時代背景です。これから少子高齢化が一層進みます。また、近年は地球温暖化による異常気象が続き、各地で大きな災害が多発しています。これからの時代がどうなるのか、10年先ですら予測することが難しくなっています。何が正解かわからないこれからの時代を生きる子どもたちに、これまでの正解主義による知識の注入だけでいいのでしょうか。予測不可能な世の中であっても、みんなで協働し、アイディアを出し合いながら、よりよい考えを創造する思考力や粘り強く取り組む力が必要になるのではないかと思います。そのような、子どもたちを育てるために、各学校は自校の教育課程を創造し、特に3つめの「人的・物的資源の活用」を意識する必要があると思っています。学校はどうしても、教師と子どもという狭い世界で物事を考えようとします。しかし、地域には老若男女を問わず様々な力を持った大人の方がいます。また、伊丹市では今年から全校がコミュニティ・スクールとなり学校運営協議会として、学校経営に関わる人材の方も多くいらっしゃいます。このようなみなさんの力をマネジメントして、学校経営に生かしていくことがカリマネの成否を分けるポイントです。そして、これからの学校には、コミュニティリーダー（地域の人々のつながりを大切にするリーダー）としての校長先生が必要なのです。教員、保護者・地域の方の力を結集して、令和の時代の新たな教育課程を編成していきたいものです。

# 深い学びの実現に向けた カリキュラム・マネジメント

**「単元配列表」とは？**  
各学年それぞれの教科等で立てた年間指導計画を統合して一枚にした、年間の教育活動を見ることができる表のこと

～単元全体を見渡すことができる「単元配列表」を描こう～

## カリマネの **ねらい**

教育課程に基づき、組織的・計画的に**教育活動の質の向上**を図っていくこと

## カリマネの **三つの側面**

- 「教科横断的な視点で配列する」
  - 「PDCAサイクルを確立する」
  - 「地域人材や地域資源を活用する」
- 主体的・対話的で深い学びのある授業の実現につなげる


## カリマネの **カリキュラム・デザイン**

- 3つの階層で整理すると
- 「グランド・デザイン」(教育活動の全体計画)
  - 「単元配列表」(各学年、それぞれの教科等の年間指導計画)
  - 「単元」(一連の学習活動のまとめ)

→特に、「単元配列表」を描くことに力をかけて、様々な要素を関連付けて整備していくことが重要

- ・ **教職員**が各教科等の関連を俯瞰して見ることができるようになると、**授業の見通し**が立つことができる。
- ・ **子どもたち**にとって、いろいろな教科等が関連付いていくことは、**役立ち感**や**有用感**を実感することができる。

参考文献:「深い学び」実現するカリキュラム・マネジメント (國學院大學教授 田村 学 氏)

カリキュラムのデザインを活用した小学校の取組や、小中連携を図る取組がNITS独立行政法人教職員支援機構が作成しているYouTube動画で公開されています。  
校内研修での活用にもオススメです。  
【参考】 アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメント (稲岡寛氏):校内研修シリーズNo53 → 

## 単元配列表の作成について

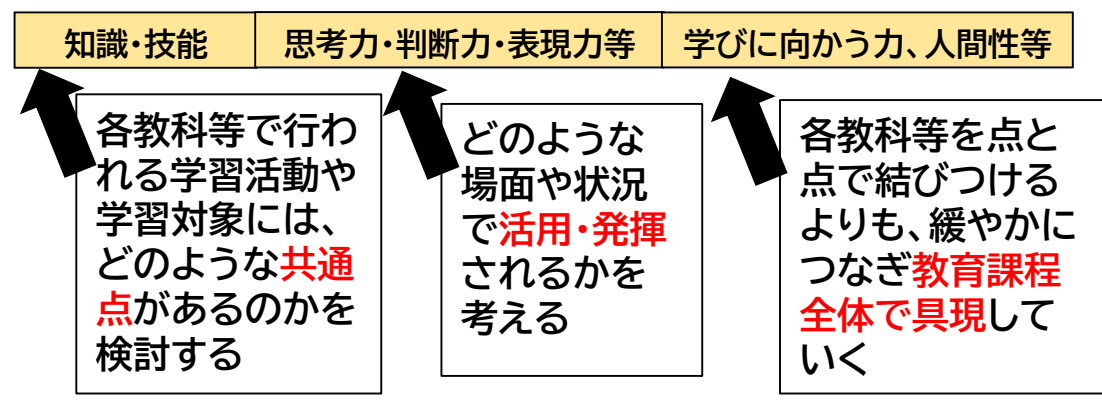
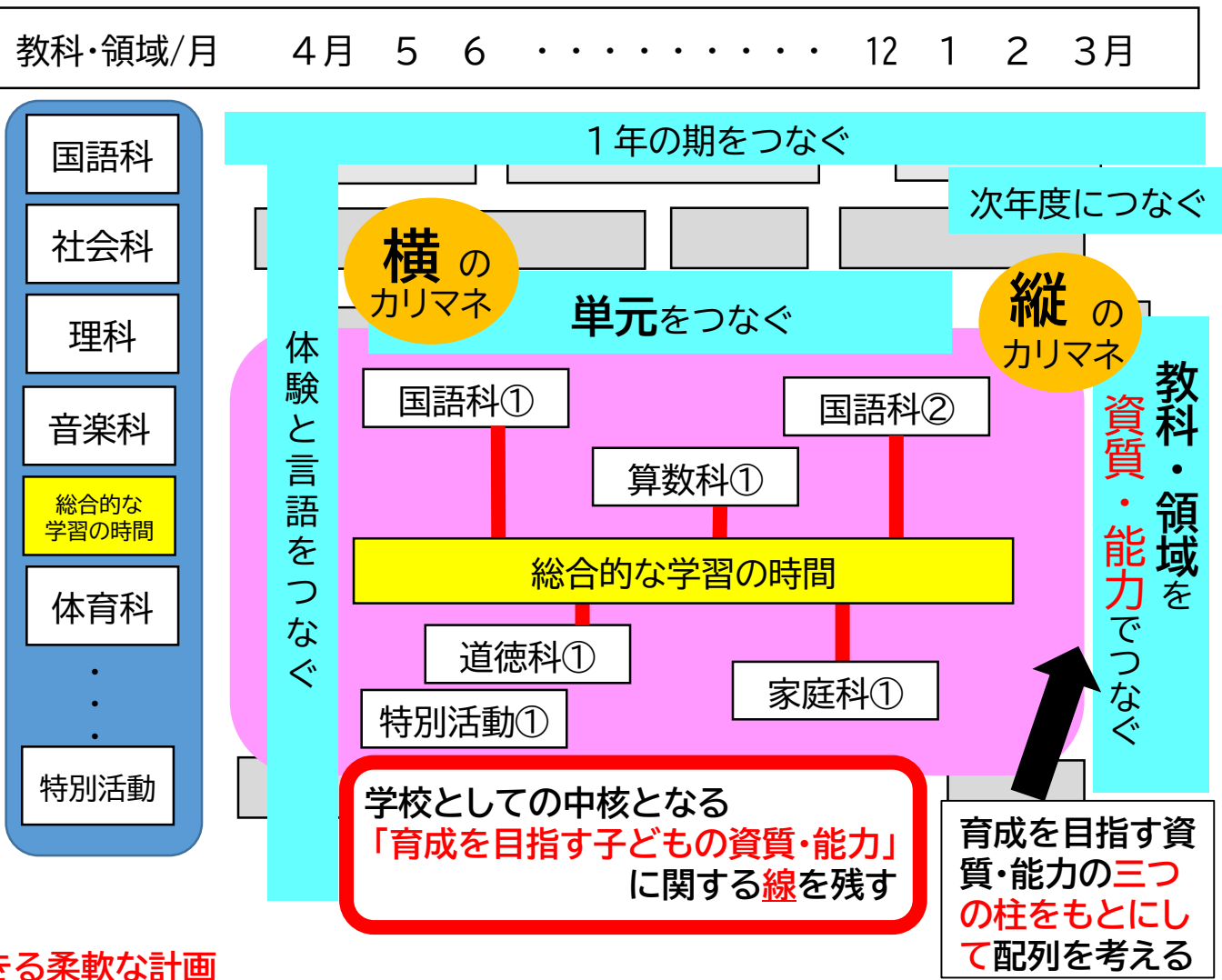
**単元配列表**でやること

- ①単元の位置関係の操作
- ②各教科・領域間の関連付け

▶資質・能力のつながりが**より明快**に!!

他にも心がけること

- 1 **見通しをもった計画**  
実施時期の適切さ、時数の配当の過不足などについて十分に目配りが必要
- 2 **弾力的な運用ができる柔軟な計画**  
学び手である子どもを中心に考え、柔軟に対応
- 3 **教育資源の有効な利活用を計画**  
多くの人的資源、様々な社会施設や団体などを有効活用し、学びの質を高める



カリセンの  
部屋から

# 書籍紹介



カリキュラム・マネジメント関連の書籍を紹介します。  
授業力向上(カリキュラム)支援センターにて貸し出ししています。

「深い学び」を実現するカリキュラム・マネジメント  
(田村 学 國學院大學教授)  
カリキュラム・マネジメントの理論や、カリキュラム・デザイン、グランド・デザイン、単元配列表や単元構成等の作成方法、生活科や総合的な学習の時間を中核としたカリキュラム・マネジメントとの具体例とその評価等について、理解を深めることができる一冊である。

「学び合い」で始める  
カリキュラム・マネジメント  
(西川 純 上越教育大学教授)  
学校が抱える様々な問題を解決するための教師集団がチームとしてできることは何か。  
「学び合い」をすればカリキュラム・マネジメントを実現できる。  
校長・教頭・教員・生徒・保護者・・・あらゆる立場から描かれたチーム学校の記録である。



- ・ 学級づくり・授業づくり
- ・ 学校づくり・授業研究
- ・ 新学習指導要領
- ・ プログラミング教育
- ・ 教師の働き方改革
- ・ その他教育課題について  
書籍および月刊誌を揃えております。

他にも**新刊**が  
たくさん入りました。  
(写真は一部です)

発行 伊丹市立総合教育センター

所在地 〒664-0898  
伊丹市千僧1丁目1  
平日(水以外) 9:00~21:00  
水曜日 9:00~17:30  
土曜日 9:00~17:00

電話 072-780-2480  
FAX 072-780-2482  
休館日 日曜・祝日・年末・年始  
ホームページ  
<http://www.itami.ed.jp/>

教育相談  
電話 072-772-6171 (電話相談)  
072-780-2484 (来所相談)  
お子様に関する様々な悩みや課題、問題等の相談に  
応じています。

兵庫県教育委員会ひょうごっ子SNS悩み相談  
LINEを使って利用できます→  
こまったことがあったらすぐ相談

